

## 小松病院歯科口腔外科臨床研修プログラム

### 1. プログラムの名称

小松病院歯科口腔外科臨床研修プログラム

### 2. プログラムの目標

患者中心の全人的医療を理解し、全ての歯科医師にもとめられる基本的な診療能力（態度・技能及び知識）を身につけ、生涯研修の第一歩とする。

### 3. プログラムの特色

一般歯科治療はもとより、病院歯科という環境を生かし、他科疾患有病者の歯科治療、全身麻酔下歯科治療を中心とした障害者歯科治療、当院老人保健施設を含めた在宅歯科治療、口腔外科治療、顎顔面領域のペインクリニック、歯科治療中の救急処置についての基本的概念を身につけるようにマンツーマンの教育を行う。

### 4. プログラム責任者と施設の概要

プログラム責任者職氏名 歯科口腔外科 副院長 藤喜久雄

名称：医療法人協仁会 小松病院

開設者：医療法人協仁会

所在地：寝屋川市川勝町 11-6

電話：(072) 823-1521 FAX (072) 823-2456

診療科：内科、呼吸器外科、消化器外科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、アレルギー科、糖尿病内科、緩和ケア内科

<病院の沿革・特徴>

昭和 38 年に開院されて以来、地域に密着した医療活動を実践している。在宅診療部も有し、専任医師、看護婦が在宅医療を行っている。平成 8 年に併設型老人保健施設も開設された。歯科・歯科口腔外科は、昭和 56 年開設され障害者歯科治療を開始した。現在では、二次歯科医療機関として、口腔外科、他科疾患有病者歯科、障害者歯科、ペインクリニック、在宅診療と幅広く診療を行い、学会活動も活発に行っている。

<歯科・歯科口腔外科の概要>

歯科医師数 常勤 5 人

非常勤 3 人

内指導歯科医師 3 人 ユニット・チェア数 8 台 歯科衛生士数 常勤 9 人

1 日平均外来患者数 76.4 人 年間歯科入院数 777 人、年間手術件数 650 件

紹介患者の内訳（口腔外科 80% 有病者 17% ペインクリニック 2% その他 1%）

日本歯科麻酔学会準研修機関

<研修協力施設>

名称：医療法人協仁会 介護老人保健施設 松柏苑

実施責任者：田邊正博

研修内容：月1回程度、指導歯科医と歯科研修医で一般歯科治療を行う。

研修期間：5月～翌年3月

## 5. プログラムの管理運営体制

院内歯科臨床研修委員会（委員長：総院長 一番ヶ瀬 明）のメンバーは総院長と常勤歯科医、事務長、研修協力施設責任者、外部代表者1名とする。年2回以上委員会を開催して、本プログラムの実施内容、研修評価および関連事項の審議を行う。

## 6. 定員

単独研修方式2名とする。

## 7. 教育課程

### 1) 期間割

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
*	一般歯科治療を中心とした外来研修			一般歯科治療 有病者歯科	一般歯科治療 口腔外科外来	一般歯科治療 障害者歯科	口腔外科病棟 在宅歯科治療				

緊急処置、ペインクリニック、矯正歯科については随時指導する。

\*:オリエンテーション

研修協力施設においては5月～翌年3月に月1回程度研修を行う。

他科見学(研修)

### 2) 研修内容

一般歯科治療	基本的臨床手技の習得
有病歯科治療	疾患の理解と歯科治療時の問題点を解決できるよう臨床能力を身につける
障害者歯科治療	障害の分類、程度の把握、治療法の基礎を身につける
口腔外科	口腔外科疾患の理解と、基礎的な検査、診断法、手術手技の原則を習熟する
歯科麻酔科	神経ブロックを含めた顎顔面領域のペインクリニック、末期癌患者の疼痛管理、全身麻酔法の概念を身につけ、歯科緊急処置の基礎ができるよう臨床能力を養う
在宅歯科治療	在宅診療の実際を研修することにより、摂食の基本とリハビリテーションを理解し、病診連携の重要性を認識する

日本歯科医学会分科会への学会発表、症例検討会、抄読会

## 到達目標の達成度評価について

研修歯科医が到達目標を達成しているかどうかは、各分野の終了時に、歯科医師及び歯科医師以外の医療職が別添の「研修歯科医評価票」Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを用いて評価し、評価票は院内歯科研修委員会で保管する。歯科医師以外の職種には、看護師・歯科衛生士を含む。

上記評価の結果を踏まえて、プログラム責任者・研修管理委員会委員が、研修医に対して形成的評価（フィードバック）を行う。

1年間の研修終了時に、臨床研修管理委員会において、研修歯科医評価票Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを勘案して作成される「臨床研修の目標の達成度判定票」を用いて、到達目標の達成状況について評価する。

### 「研修歯科医師評価票」

#### Ⅰ. 「A. 歯科医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）」に関する評価

- A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与
- A-2. 利他的な態度
- A-3. 人間性の尊重
- A-4. 自らを高める姿勢

#### Ⅱ. 「B. 資質・能力」に関する評価

- B-1. 医学・医療における倫理性
- B-2. 歯科医療の質と安全の管理
- B-3. 医学知識と問題対応能力
- B-4. 診療技能と患者ケア
- B-5. コミュニケーション能力
- B-6. チーム医療の実践
- B-7. 社会における歯科医療の実践
- B-8. 科学的探究
- B-9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

#### Ⅲ. 「C. 基本的診療業務」に関する評価

- C-1. 基本的診療能力等
- C-2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等

臨床研修の目標達成度判定票

臨床研修の目標達成状況	<input type="checkbox"/> 既達	<input type="checkbox"/> 未達
-------------	-----------------------------	-----------------------------

**A. 歯科医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）**

到達目標	達成状況： 既達／未達	備考
A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
A-2. 利他的な態度	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
A-3. 人間性の尊重	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
A-4. 自らを高める姿勢	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	

**B. 資質・能力**

到達目標	達成状況： 既達／未達	備考
B-1. 医学医療における倫理性	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
B-2. 歯科医療の質と安全の管理	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
B-3. 医学知識と問題対応能力	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
B-4. 診療技能と患者ケア	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
B-5. コミュニケーション能力	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
B-6. チーム医療の実践	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
B-7. 社会における歯科医療の実践	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
B-8. 科学的探究	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
B-9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	

**C. 基本的診療業務**

到達目標	達成状況： 既達／未達	備考
C-1. 基本的診療能力等	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
C-2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	

(臨床研修の目標の達成に必要な条件等)
---------------------

年 月 日

小松病院、歯科口腔外科研修プログラム

プログラム責任者 \_\_\_\_\_

研修歯科医評価票 I

「A. 歯科医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）」に関する評価

研修歯科医名 \_\_\_\_\_

観察者 氏名 \_\_\_\_\_ 区分  歯科医師  歯科医師以外（職種名

観察期間 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

記載日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

	レベル1 期待を 大きく 下回る	レベル2 期待を 下回る	レベル3 期待 通り	レベル4 期待を 大きく 上回る	観察 機会 なし
A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与 社会的使命を自覚し、説明責任をはたしつつ、限りある資源や社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A-2. 利他的な態度 患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A-3. 人間性の尊重 患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A-4. 自らを高める姿勢 自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

期待とは、「研修終了時に期待される状態」とする。  
印象に残るエピソードがあれば記述してください。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

研修歯科医評価票 II

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 \_\_\_\_\_

観察者 氏名 \_\_\_\_\_ 区分  歯科医師  歯科医師以外（職種名 \_\_\_\_\_）

観察期間 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

記載日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

レベルの説明

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
臨床研修の開始時点で期待されるレベル	臨床研修の中間時点で期待されるレベル	臨床研修の終了時点で期待されるレベル (到達目標相当)	上級医として期待されるレベル

研修歯科医評価票 Ⅲ

「C. 基本的診療業務」に関する評価

研修歯科医名 \_\_\_\_\_

観察者 氏名 \_\_\_\_\_ 区分  歯科医師  歯科医師以外（職種名 \_\_\_\_\_）

観察期間 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

記載日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

	レベル1 期待を 大きく 下回る	レベル2 期待を 下回る	レベル3 期待 通り	レベル4 期待を 大きく 上回る	観察 機会 なし
C-1. 基本的診療能力等 歯科診療に関し、診断・診療計画を立て、 患者の状態に応じた歯科医療の提供ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C-2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等 歯科診療をとりまく情勢を把握し、チーム 医療を行うことができる。関連連携施設や 制度を理解し連携・参加する事ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

期待とは、「研修終了時に期待される状態」とする。  
印象に残るエピソードがあれば記述してください。特に、「期待を大きく下回る」  
とした場合は必ず記入をお願いします。

( )

B1. 医学・医療における倫理性：

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

レベル 1	レベル 2	レベル 3 <small>研修終了時で期待されるレベル</small>	レベル 4			
<p>■医学医療の歴史的な流れ、臨床倫理や生と死に係る倫理的問題、各種倫理に関する規範を概説できる。</p> <p>■患者の基本的権利、自己決定権の意義、患者の価値観、インフォームドコンセントとインフォームドアセントなどの意義と必要性を説明できる。</p> <p>■患者のプライバシーに配慮し、守秘義務の重要性を理解した上で適切な取扱いが出来る。</p>	人間の尊厳と生命の不可侵性に関して尊重の念を示す。	人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。	モデルとなる行動を他者に示す。			
	患者のプライバシーに最低限配慮し、守秘義務をはたす。	患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。	モデルとなる行動を他者に示す。			
	倫理的ジレンマの存在を認識する。	倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。	倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づいて多面的に判断し、対応する。			
	利益相反の存在を認識する。	利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。	モデルとなる行動を他者に示す。			
	診療、研究、教育に必要な透明性確保と不正行為の防止を認識する。	診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。	モデルとなる行動を他者に示す。			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 観察する機会が無かった						
コメント：						



B2. 歯科医療の質と安全の管理：

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

レベル 1	レベル 2	レベル 3 <small>研修終了時で期待されるレベル</small>	レベル 4			
<p>■医療事故の防止において個人の注意、組織的なリスク管理の重要性を説明できる。</p> <p>■医療現場における報告・連絡・相談の重要性、医療文書の改ざんの違法性を説明できる。</p> <p>■医療安全管理体制の在り方、医療関連感染症の原因と防止に関して概説できる。</p>	<p>医療の質と患者安全の重要性を理解する。</p>	<p>医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善を務める。</p>	<p>医療の質と患者安全について、日常的に認識・評価し、改善を提言する。</p>			
	<p>日常業務において、適切な頻度で報告、連絡、相談ができる。</p>	<p>日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。</p>	<p>報告・連絡・相談を実践するとともに、報告・連絡・相談に対応する。</p>			
	<p>一般的な医療事故等の予防と事後対応の必要性を理解する。</p>	<p>医療事故等の予防と事後の対応を行う。</p>	<p>非典型的な医療事故等を個別に分析し、予防と事後対応を行う。</p>			
	<p>歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解する。</p>	<p>歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解し実践する。</p>	<p>歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について、理解・実践し、新しく提案する事が出来る。</p>			
	<p>医療従事者の健康管理と自らの健康管理の必要性を理解する。</p>	<p>医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む）を理解し、自らの健康管理に努める。</p>	<p>自らの健康管理、他の医療従事者の健康管理に努める。</p>			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 観察する機会が無かった						
<p>コメント：</p>						

B3. 医学知識と問題対応能力：

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

レベル 1	レベル 2	レベル 3 <small>研修終了時で期待されるレベル</small>	レベル 4			
<p>■必要な課題を発見し、重要性・必要性に照らし、順位付けをし、解決にあたり、他の学習者や教員と協力してより良い具体的な方法を乱すことが出来る。適切な自己評価と改善のための方策を立てることが出来る。</p> <p>■講義、教科書、検索情報などを統合し、自らの考えを示すことが出来る。</p>	<p>頻度の高い症候について、基本的な鑑別診断を挙げ、初期対応を計画する。</p>	<p>頻度の高い症候について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。</p>	<p>主な症候について、十分な鑑別診断と初期対応をする。</p>			
	<p>基本的な情報を収集し、医学的知見に基づいて臨床決断を検討する。</p>	<p>患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。</p>	<p>患者に関する詳細な情報を収集し、最新の医学的知見と患者の意向や生活の質への配慮を統合した臨床決断をする。</p>			
	<p>保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案する。</p>	<p>保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案する。</p>	<p>保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、患者背景、多職種連携も勘案して実行する。</p>			
	<p>高度な専門医療を要する場合には適切に連携する事が理解できる。</p>	<p>高度な専門医療を要する場合には適切に連携する。</p>	<p>高度な専門医療を要する場合には、多職種連携の中心となって、すみやかに対応する事が出来る。</p>			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 観察する機会が無かった						
<p>コメント：</p>						

B4. 診療技能と患者ケア：

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

レベル1	レベル2	レベル3 <small>研修終了時で期待されるレベル</small>	レベル4			
<p>■必要最低限の病歴を聴取し、網羅的に系統立てて、身体診察を行うことが出来る。</p> <p>■基本的な臨床技能を理解し、適切な態度で診断治療を行うことが出来る。</p> <p>■問題志向型医療記録形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成出来る。</p> <p>■緊急を要する病態、慢性疾患、に関して説明が出来る。</p>	<p>必要最低限の患者の健康状態に関する情報を心理・社会的側面を含めて、安全に収集する。</p>	<p>患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。</p>	<p>複雑な症例において、患者の健康に関する情報を心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。</p>			
	<p>基本的な症例において、診療・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。</p>	<p>診療・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。</p>	<p>複雑な症例において、診療・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。</p>			
	<p>基本的な疾患の最適な治療を安全に実施する。</p>	<p>患者の状態に合わせた、最適な治療を安全に実施する。</p>	<p>複雑な疾患の最適な治療を患者の状態に合わせて安全に実施する。</p>			
	<p>最低限必要な情報を含んだ診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切に作成する。</p>	<p>診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅延なく作成する。</p>	<p>必要かつ十分な診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅延なく作成でき、記載の模範を示せる。</p>			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 観察する機会が無かった						
<p>コメント：</p>						

B5. コミュニケーション能力：

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者と家族と良好な関係性を築く。

レベル1	レベル2	レベル3 <small>研修終了時で期待されるレベル</small>	レベル4			
<p>■コミュニケーションの方法と技能、及ぼす影響を概説できる。</p> <p>■良好な人間関係を築くことができ、患者・家族に共感できる。</p> <p>■患者・家族の苦痛に配慮し、分かりやすい言葉で心理的社会的課題を把握し、整理できる。</p> <p>■患者の要望への対処の仕方を説明できる。</p>	<p>最低限の言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。</p>	<p>適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。</p>	<p>適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで、状況や患者家族の思いに合わせた態度で患者や家族に接する。</p>			
	<p>患者や家族にとって必要最低限の情報を整理し、説明できる。指導医とともに患者の主体的な意思決定を支援する。</p>	<p>患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な医師決定を支援する。</p>	<p>患者や家族にとって必要かつ十分な情報を適切に整理し、分かりやすい言葉で説明し、医学的判断を加味した上で患者の主体的な意思決定を支援する。</p>			
	<p>患者や家族の主要なニーズを把握する。</p>	<p>患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。</p>	<p>患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握し、統合する。</p>			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 観察する機会が無かった						
<p>コメント：</p>						

B6. チーム医療の実践：

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

レベル 1	レベル 2	レベル 3 <small>研修終了時で期待されるレベル</small>	レベル 4			
<p>■チーム医療の意義を説明でき、チームの一員として診療に参加できる。</p> <p>■自分の限界を認識し、他の医療従事者の援助を求められることができる。</p> <p>■チーム医療における歯科医師の役割を説明できる。</p>	<p>歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解する。</p>	<p>歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図る。</p>	<p>歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図り実践する。</p>			
	<p>単純な事例において、医療を提供する組織やチームの目的等を理解する。</p>	<p>医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。</p>	<p>複雑な事例において、医療を提供する組織やチームの目的とチームの目的等を理解したうえで実践する。</p>			
	<p>単純な事例において、チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。</p>	<p>チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。</p>	<p>チームの各構成員と情報を積極的に共有し、連携して最善のチーム医療を実践する。</p>			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 観察する機会が無かった						
<p>コメント：</p>						

B7. 社会における歯科医療の実践：

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会と国際社会に貢献する。

レベル1	レベル2	レベル3 <small>研修終了時で期待されるレベル</small>	レベル4
<p>■離島・へき地を含む地域社会における医療の状況、医師偏在の現状を概説できる。</p> <p>■医療計画及び地域医療構想、地域包括ケア、地域保健などを説明できる。</p> <p>■災害医療を説明できる。</p> <p>■地域医療に積極的に参加・貢献する。</p>	健康医療に関する法規・制度を理解する。	健康医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。	健康医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解し、実臨床に適用する。
	健康保険、公費負担医療の制度を理解する。	医療費の患者負担に配慮しつつ、健康保険、公費負担医療を適切に活用する。	健康保険、公費負担医療の適用の可否を判断し、適切に活用する。
	地域の健康問題やニーズを把握する重要性を理解する。	地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案する。	地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案・実行する。
	予防医療・保健・健康増進の必要性を理解する。	予防医療・保健・健康増進に努める。	予防医療・保健・健康増進について具体的な改善案などを提示する。
	地域包括ケアシステムを理解する。	地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。	地域包括ケアシステムを理解し、その推進に積極的に参画する。
	災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要が起こりうることを理解する。	災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要に備える。	災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要を指定し、組織的な対応を主導する実際に対応する。

観察する機会が無かった

コメント：

B8. 科学的探究：

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

レベル 1	レベル 2	レベル 3 <small>研修終了時で期待されるレベル</small>	レベル 4			
<p>■研究は医学・医療の発展や患者の利益の増進のために行われることを説明できる。</p> <p>■生命科学の講義、実習、患者や疾患の分析から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。</p>	医療上の問題点を認識する。	医療上の問題点を研究課題に変換する。	医療上の疑問点を研究課題に変換し、研究計画を立案する。			
	科学的研究方法を理解する。	科学的研究方法を理解し、活用する。	科学的研究方法を目的に合わせて活用実践する。			
	臨床研究や治験の意義を理解する。	臨床研究や治験の意義を理解し、協力する。	臨床研究や治験の意義を理解し、実臨床で協力・実施する。			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 観察する機会が無かった						
コメント：						

B9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢：

医療の質の向上のために省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

レベル1	レベル2	レベル3 <small>研修終了時で期待されるレベル</small>	レベル4			
<p>■生涯学習の重要性を説明でき、継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	<p>急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収の必要性を認識する。</p>	<p>急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。</p>	<p>急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収のために、常に自己省察し、自己研鑽のために努力する。</p>			
	<p>同僚、後輩、医師以外の医療職から学ぶ姿勢を維持する。</p>	<p>同僚、後輩、医師以外の医療職と互いに教え、学び合う。</p>	<p>同僚、後輩、医師以外の医療職と共に研鑽しながら、後進を育成する。</p>			
	<p>国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。）の重要性を認識する。</p>	<p>国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。）を把握する。</p>	<p>国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。）を把握し、実臨床に活用する。</p>			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 観察する機会が無かった						
<p>コメント：</p>						



C1-1 基本的診察・検査・診断・診療計画 (1/2ページ)

初診患者に問診、検査を行い診察所見および検査結果より診断を行う。  
 治療計画を立案し、患者および家族に説明を行い同意を得る (6症例)  
 項目ごとに必要に応じて、レポート提出を行う。提出したレポートを1例として数える。  
 研修歯科医を担当する指導歯科医がレポート作成の際にサポート等を行う。  
 レポートは、指導歯科医が評価を行う。

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察機会なし
	期待を大きく下回る	期待を下回る	期待通り	期待を大きく上回る	
C1-①. 患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。 a) コミュニケーションスキルを実施する。 1) 適切な呼び入れ 2) 同じ目の高さであいさつ 3) 自己紹介 4) フルネームの確認 5) 面接の了承 6) 適切な座り方 7) 適切なアイコンタクト 8) わかりやすい言葉 9) 積極的傾聴 10) 適切な要約と確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b) 患者の心理・社会的背景に配慮する。 1) 心理的状況 高齢者・障害者が多いため、家族・付添人にも状況を聴取する。状況により個室での面談が必要になる。 2) 社会的背景 対応困難な場合は、MSWに連絡する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C1-②. 全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。 a) 基本的な診査を実践する。 1) 問診 2) 全身の観察 3) 口腔外の診査 4) 口腔内の診査	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C1-③. 診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。 a) 各種検査を選択して結果を解釈、説明する。 1) 歯周組織検査 2) 齲蝕検査 3) 歯髄検査 4) エックス線検査 5) MRI検査 6) CT検査 7) 超音波検査 8) 核医学検査(シンチグラムなど) 9) 顎口腔機能検査 10) 血液検査 11) 止血機能検査 12) 循環機能検査 13) 呼吸機能検査 14) 病理検査	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

期待とは、「研修終了時に期待される状態」とする。  
 印象に残るエピソードがあれば記述してください。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

C1-1 基本的診察・検査・診断・診療計画 (2/2ページ)

項目ごとに必要に応じて、レポート提出を行う。提出したレポートを1例として数える。  
 研修歯科医を担当する指導歯科医がレポート作成の際にサポート等を行う。  
 レポートは、指導歯科医が評価を行う。

	レベル1 期待を 大きく 下回る	レベル2 期待を 下回る	レベル3 期待 通り	レベル4 期待を 大きく 上回る	観察機 会なし
C1-④. 病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。 a) 診査・検査所見から、各疾患の診断基準に基づいて診断する。 b) 顔面痛・腫瘍・外傷等に関しては、医科にコンサルトが必要な場合もある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C1-⑤. 診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する。 a) 全身とのかかわり、生命予後を見据えた治療計画を作成する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C1-⑥. 必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。 a) 患者・家族に必要な情報を十分に提供する 1) 理学的所見・レントゲン所見・検査結果等を、平易な言葉を用いて説明する 2) 当院での治療可能な疾患を説明し、疾患によって一般開業医・がん拠点病院に治療を依頼することを説明する。 b) 患者の自己決定を尊重する（インフォームドコンセントの構築） 1) 病名と症状 2) 予想される検査や治療についての目的と内容 3) また予想される結果とそれに伴う危険性(副作用など) 4) それ以外の可能な治療方法 5) 検査や治療を受けないことにより予想される結果（治療拒否権）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

期待とは、「研修終了時に期待される状態」とする。  
 印象に残るエピソードがあれば記述してください。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

( )

C1-2 基本的臨床手技能等 (1/2ページ)

項目ごとに必要に応じて、レポート提出を行う。提出したレポートを1例として数える。  
 研修歯科医を担当する指導歯科医がレポート作成の際にサポート等を行う。  
 レポートは、指導歯科医が評価を行う。

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察 機会 なし
	期待を 大きく 下回る	期待を 下回る	期待 通り	期待を 大きく 上回る	
C1-2①. 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を 実践する。 a) 外来口腔衛生指導 (1 症例) b) 術前口腔衛生指導 (顎変形症) (1 症例) c) 緩和病棟口腔衛生指導 (1 症例)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C1-2②. 一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な 治療及び管理を実践する。 a) 歯の硬組織疾患：う蝕のコンポジットレジン修復 (1 症例) b) 歯髄疾患：抜髄処置 (1 症例) c) 歯周病：スケーリング (1 症例) d) 口腔外科疾患：抜歯 (1 症例) e) 歯質と歯の欠損：義歯作製 (1 症例) f) 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下：嚥下訓練 (1 症例)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C1-2③. 基本的な応急処置を実践する。(各項目 1 症例) a) 疼痛に対する応急処置を実践する。 1) 歯髄炎 2) 歯周組織炎 3) 顎炎 4) 顔面外傷 5) 顎関節症 6) 神経痛 (三叉神経痛・舌咽神経痛) 7) 非定型顔面痛 b) 歯、口腔および顎顔面の外傷に対する応急処置を実践する。 1) 歯の外傷 2) 口腔軟組織外傷 3) 骨折 4) 顔面外傷 (上下唇 を含む) c) 修復物、補綴装置等の脱離と破損に対する応急処置を実践す る。 1) 補綴物の再装着 2) 義歯修理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

期待とは、「研修終了時に期待される状態」とする。  
 印象に残るエピソードがあれば記述してください。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

C1-2 基本的臨床手技能等 (2/2ページ)

項目ごとに必要に応じて、レポート提出を行う。提出したレポートを1例として数える。  
 研修歯科医を担当する指導歯科医がレポート作成の際にサポート等を行う。  
 レポートは、指導歯科医が評価を行う。

	レベル1 期待を 大きく 下回る	レベル2 期待を 下回る	レベル3 期待 通り	レベル4 期待を 大きく 上回る	観察 機会 なし
C1-2④. 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。(各1症例)					
a) モニター装着					
b) 血圧・脈拍・血中酸素飽和度・心電 についての評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C1-2⑤. 診療に関する記録や文書(診療録、処方せん、歯科技工指示書等)を作成する。(各1症例)					
a) 歯科用電子カルテ、入院用(医科電子カルテ)					
b) 処方箋(外来・入院)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
c) 歯科技工指示書(手書き)					
C1-2⑥. 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。(各1症例)					
a) 小松病院医療安全マニュアルに準拠する。					
b) 院内学習会を受講(ビデオ聴取)する。					
1) 医療安全講習会 2) 医療ガス安全 3) 輸血のリスクと対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4) 放射線医療安全 5) 転倒・転落医療安全					

期待とは、「研修終了時に期待される状態」とする。  
 印象に残るエピソードがあれば記述してください。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

C1-3 患者管理 (1/2ページ)

項目ごとに必要に応じて、レポート提出を行う。提出したレポートを1例として数える。  
 研修歯科医を担当する指導歯科医がレポート作成の際にサポート等を行う。  
 レポートは、指導歯科医が評価を行う。

(症例件数：①～⑤の項目ごとに1例)

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察 機会 なし
	期待を 大きく 下回る	期待を 下回る	期待 通り	期待を 大きく 上回る	

C1-3①. 歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。

a) 全身疾患の歯科診療上のリスクを説明する。(各1症例)

1) 血液疾患 2) 代謝性疾患 3) 循環器系疾患 4) 呼吸器系疾患  
 5) 消化器系疾患 6) 腎泌尿器疾患等 7) 内分泌疾患 8) 膠原病  
 関連 9) 脳神経筋疾患

b) 服用薬剤の歯科診療に関連する副作用を説明する(各1症例)

1) 抗血栓療法薬 2) BP剤等 3) 分子標的薬剤 4) 抗精神薬

C1-3②. 患者の医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。

a) 文書作成ソフト (MEDI-Papyrus) を用いて、文書を作成して情報を共有。

C1-3③. 全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。(各1症例)

a) 血圧について説明する

b) 脈拍について説明する

c) 血中酸素飽和度について説明する

d) 体温について説明する

e) 呼気終末二酸化炭素分圧について説明する

期待とは、「研修終了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述してください。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。


C1-3 患者管理 (2/2ページ)

項目ごとに必要に応じて、レポート提出を行う。提出したレポートを1例として数える。  
 研修歯科医を担当する指導歯科医がレポート作成の際にサポート等を行う。  
 レポートは、指導歯科医が評価を行う。

	レベル1 期待を 大きく 下回る	レベル2 期待を 下回る	レベル3 期待 通り	レベル4 期待を 大きく 上回る	観察 機会 なし
C1-3④. 歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を 実践する。					
a) 病態と治療法を説明する					
1) 血管迷走神経反射 2) 過換気症候群 3) アナフィラキシー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4) 血圧上昇 5) 急性冠症候群					
b) 一次救命処置(BLS)を実践する					
1) AHAに準拠(田村インストラクター)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
c) 二次救命処置(ACLS)を実践する					
1) AHAに準拠(田村インストラクター)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C1-3⑤. 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術 後管理及び療養上の管理を実践する。					
a) 術前管理(各1症例)					
1) 局所管理: 術前口腔ケア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2) 全身管理: 術前検査の評価					
b) 術後管理(各1症例)					
1) 呼吸・循環管理: モニタリング評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2) 創部管理: 術後口腔ケア					
c) 療養上の管理(各1症例)					
1) 栄養管理: 栄養NSTラウンド参加	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2) 身体拘束: 離床センサー設置					

期待とは、「研修終了時に期待される状態」とする。  
 印象に残るエピソードがあれば記述してください。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。


C1-4 患者の状態に応じた歯科医療の提供					
<p>項目ごとに必要に応じて、レポート提出を行う。提出したレポートを1例として数える。            研修歯科医を担当する指導歯科医がレポート作成の際にサポート等を行う。            レポートは、指導歯科医が評価を行う。</p>					
	レベル1 期待を 大きく 下回る	レベル2 期待を 下回る	レベル3 期待 通り	レベル4 期待を 大きく 上回る	観察 機会 なし
C1-4①. 妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。					
a) 各ライフステージの身体的特徴を述べる。(1症例)					
b) 各ライフステージの口腔内の特徴を述べる。(1症例)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C1-4②. 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。					
a) 全身疾患患者の歯科医療を行う。(各1症例) 1) 血液疾患 2) 代謝性疾患 3) 循環器系疾患 4) 呼吸器系疾患 5) 消化器系疾患 6) 腎泌尿器疾患等 7) 内分泌疾患 8) 膠原病 関連 9) 脳神経筋疾患					
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b) 歯科救急(各1症例) 1) 炎症 2) 外傷(顎関節脱臼を含む)					
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C1-4③. 在宅療養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。					
a) 老人保健施設松柏苑：訪問歯科診療を経験(1症例)					
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b) 居宅：訪問歯科診療を経験(1症例)					
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C1-4④. 障害を有する患者への対応を実践する。					
a) 抑制下歯科治療(1症例)					
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b) 静脈麻酔科歯科治療(1症例)					
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
c) 全身麻酔科歯科治療(1症例)					
期待とは、「研修終了時に期待される状態」とする。 印象に残るエピソードがあれば記述してください。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。					
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 100%; height: 100%;"></div>					

C2-1 歯科専門職の連携					
<p>項目ごとに必要に応じて、レポート提出を行う。提出したレポートを1例として数える。            研修歯科医を担当する指導歯科医がレポート作成の際にサポート等を行う。            レポートは、指導歯科医が評価を行う。</p>					
	レベル1 期待を 大きく 下回る	レベル2 期待を 下回る	レベル3 期待 通り	レベル4 期待を 大きく 上回る	観察 機会 なし
C2-1①. 歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る。 a) 病棟専属歯科衛生士の病棟業務に同行、役割を理解する。 b) 訪問歯科衛生士の訪問業務に同行し、役割を理解する。 c) 全身麻酔の導入・維持・覚醒時の歯科衛生士の介助業務を理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C2-1②. 歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。 a) 歯科技工指示書を作成し、指導歯科医が確認する。 b) 歯科技工士の役割を述べる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C1-4③. 多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。 a) 嚥下カンファレンスに参加し、各職種の目的、役割を理解する。 b) ICTラウンドに参加して、感染予防チームの役割を理解する。 c) NSTラウンドに参加して、栄養サポートチームの役割を理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
期待とは、「研修終了時に期待される状態」とする。 印象に残るエピソードがあれば記述してください。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。					
					




C2-2 多職種連携、地域医療（1/2ページ）

項目ごとに必要に応じて、レポート提出を行う。提出したレポートを1例として数える。  
 研修歯科医を担当する指導歯科医がレポート作成の際にサポート等を行う。  
 レポートは、指導歯科医が評価を行う。

	レベル1 期待を 大きく 下回る	レベル2 期待を 下回る	レベル3 期待 通り	レベル4 期待を 大きく 上回る	観察 機会 なし
C2-2①. 地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。 a) 当法人の「総合支援センター」の機能を述べる。 b) 地域包括ケアシステムについて説明する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C2-2②. 地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。 a) 当法人の「総合支援センター」での歯科口腔外科の役割を述べる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C2-2③. 在宅療養患者や介護施設等の入所者に対する介護関係職種が関わる多職種チームについて、チームの目的を理解し、参加する。 a) 老人保健施設松柏苑・居宅の訪問診療に同行し、多職種チームの目的を理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C2-2④. 訪問歯科診療の実施にあたり、患者に関わる医療・介護関係職種の役割を理解し、連携する。 a) 小松病院訪問診療チーム（在宅緩和医療を含む）の役割を理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
印象に残るエピソードがあれば記述してください。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。					
					

C2-2 多職種連携、地域医療 (2/2ページ)

項目ごとに必要に応じて、レポート提出を行う。提出したレポートを1例として数える。  
 研修歯科医を担当する指導歯科医がレポート作成の際にサポート等を行う。  
 レポートは、指導歯科医が評価を行う。

	レベル1 期待を 大きく 下回る	レベル2 期待を 下回る	レベル3 期待 通り	レベル4 期待を 大きく 上回る	観察 機会 なし
C2-2⑤. がん患者等の周術期等口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。 a) 周術期口腔機能管理の目的、歯科医師・歯科衛生士の役割を述べ、参加する。 b) 緩和ケア病棟（ひまわり）での緩和医療における口腔機能管理を理解し、参加する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C2-2⑥. 歯科専門職が関与する多職種チーム（例えば栄養サポートチーム、摂食嚥下リハビリテーションチーム、口腔ケアチーム等）について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する。 a) NSTラウンドに参加する。 b) 嚥下カンファレンスに参加する。 c) 口腔ケアチームラウンドに参加する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C2-2⑦. 入院患者の入退院時における多職種支援について理解し、参加する。 a) 入退院カンファレンスに参加する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
印象に残るエピソードがあれば記述してください。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。					
					

C2-3 地域保健

項目ごとに必要に応じて、レポート提出を行う。提出したレポートを1例として数える。  
 研修歯科医を担当する指導歯科医がレポート作成の際にサポート等を行う。  
 レポートは、指導歯科医が評価を行う。

	レベル1 期待を 大きく 下回る	レベル2 期待を 下回る	レベル3 期待 通り	レベル4 期待を 大きく 上回る	観察 機会 なし
C2-3①. 地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。					
a) 寝屋川市立総合医療センターの役割を説明する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C2-3②. 保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。					
a) 寝屋川市保健所の地域保健活動について説明する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C2-3③. 歯科健診を経験し、地域住民に対する健康教育を経験する。					
a) 小松病院健康管理センターの歯科検診を経験する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b) 寝屋川市成人歯科検診を経験する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
印象に残るエピソードがあれば記述してください。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; height: 100px; width: 100%; margin-top: 10px;"></div>					

C2-4 歯科医療提供に関連する制度の理解

項目ごとに必要に応じて、レポート提出を行う。提出したレポートを1例として数える。  
 研修歯科医を担当する指導歯科医がレポート作成の際にサポート等を行う。  
 レポートは、指導歯科医が評価を行う。

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察 機会 なし
	期待を 大きく 下回る	期待を 下回る	期待 通り	期待を 大きく 上回る	
C2-4①. 医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。					
a) 医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを述べる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C2-4②. 医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。					
a) 指導歯科医の指導のもと、保険診療を実践する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C2-4③. 介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。					
a) 介護保険制度の目的と仕組みを述べる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
印象に残るエピソードがあれば記述してください。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。					
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 100%; height: 100%; margin: 0 auto;"></div>					

### 3) 研修歯科医の勤務時間

当院就業規則によるが、原則として、午前 9 時から午後 5 時までとする。但し、診療、教育上の必要から時間延長がありうる。

### 4) 教育に関する行事

臨床セミナー（月 1 回）、歯科・歯科口腔外科として症例検討会（週 1 回）、抄読会（週 1 回）である。

### 5) 指導体制

研修歯科医には、指導歯科医がつき、マンツーマンの教育を行う。

## 8. 研修歯科医評価

1) 到達目標の達成度をチェックする。

2) 研修プログラム経過中、症例リスト記入し、指導歯科医が確認する。さらに到達目標ごとに達成度を自己評価させ、指導医はこれをもとに達成度指導者評価を行う。

## 9. プログラムの終了の認定

研修委員会で認定した後、修了証を交付する。

## 10. プログラム終了後のコース

特になし

## 11. 研修医の処遇

身分：研修歯科医(常勤)

給与：240,000円/月（1,538円/時間）

賞与：無　　その他手当：無

勤務時間：9：00～17：00（4週6休　38.5時間）

時間外勤務：無　　当直：無

宿泊施設：希望により入寮可（2戸）　　住宅手当：無

歯科研修医の施設内の室：(医局に専用デスク)

社会保険：有（全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金保険）

労災保険：有　　雇用保険：有

国家・地方公務員災害補償法の適用：無

健康診断：年1回

歯科医師賠償責任保険：個人として加入（強制）

学会・研究会への参加：可　　、　　費用支援：有

交通費：支給

週休：1.5日／週

年次有給休暇：10日

#### 12. 研修歯科医の応募の手続き

応募先：小松病院歯科・歯科口腔外科 電話 072-823-1521

必要書類：履歴書、卒業見込証明書または歯科医師免許証の写し

選考方法：書類、面接、筆記試験、身体検査

募集時期：2021年8月頃から

選考時期：2021年9月頃から

マッチング利用：有

#### 13. 資料請求先

〒572-8567 大阪府寝屋川市川勝町 11-6 小松病院歯科・歯科口腔外科